

# 2020春季生活闘争方針決定



## —第19回中央委員会開催—



サービス連合は1月22日(水)、連合会館において第19回中央委員会を開催しました。

当日は全国から役員、中央委員、傍聴者など総勢147人が出席しました。冒頭、森岡副会長が開会の挨拶を行い、滝本広志中央委員(リーグ労働組合連合会)・野原里実中央委員(東武トップ

ツアーズ労働組合)の両氏を議長に選出して、議事に入りました。続いて主催者を代表して挨拶に立った後藤会長は、昨年度の重なる自然災害を受けての「共生と連帯」、第25回参議院議員選挙を受けての「政策実現と政治」、産業の社会的地位と労働条件の向上を目指すための「組織拡大」について語り、

最後に中期的な賃金目標「35歳年収550万円」の実現にむける取り組みを加速させるべく、実質的な賃金改善要求を「1.0%以上」に引き上げるなどの2020春季生活闘争の要求実現にむけた

〒160-0002 東京都新宿区  
四谷坂町9-6 坂町Mビル2階  
サービス・ツーリズム産業  
労働組合連合会  
TEL 03-5919-3261  
発行人 石川聡一郎

決意を述べました。その後「2019秋闘のまとめ」「2020春季生活闘争方針」「雇用の安定的な維持・確保に向けた統一対応の策定」の計3つの議案が提案され、審議の後、いずれも満場一致で可決されました。

続いて2020春季生活闘争ポスター・スローガンの紹介が行われ、応募案が採用された藤田觀光労働組合およびJT Bグループ労働組合連合会に対して活動表彰をおこないました。

また、昨年退任された傳田雄二特別中央執行委員(連合東京派遣)の永きにわたる組織への功績に対し、役員退任慰労表彰をおこないました。

今回の中央委員会では、議事の合間を利用して、サービス連合の社会貢献活動



挨拶する後藤会長



2020春季生活闘争ポスター

「明日づくりプロジェクト」の中から書きそんじハガキ収集による支援活動についての紹介を行いました。また、先の参議院議員選挙でサービス連合が政策実現のために推薦した羽田雄一郎参議院議員、大塚耕平参議院



滝本議長



野原議長

最後は津和崎副会長の閉会挨拶に続いての力強い「がんばろう三唱」で中央委員会を締めくくり、2020春季生活闘争が本格的にスタートしました。

議員、森本真治参議院議員、寺田静参議院議員、森屋隆参議院議員の5名の国会議員にお越しいただき、ご挨拶を頂戴しました。



退任された傳田特別中執

# 2020 春季生活闘争方針要旨

## 【正規労働者の賃金改善・一時金要求】

中期的な賃金目標「35歳年収 550万円」の実現にむけ、すべての加盟組合が下記の要求を行う。

・月例賃金は、賃金カーブを維持したうえで1.0%以上の実質的な賃金改善に取り組む。

・一時金は、前年同年齢者の一時金支給水準の確保に取り組んだうえで、「指標」を活用し主体的に水準向上に取り組む。「指標」を活用しない場合は、4.0ヵ月相当とする。

## 【契約社員やパートタイマー等の待遇改善】

月例給労働者は、年齢間差を2,500円と想定し4,500円以上の賃金改善、時間給労働者は30円以上の賃金改善に取り組む。一時金は、前年実績以上を要求し、正規労働者と同水準の支給を目指す。

不合理な労働条件があれば是正し、正社員への登用機会を設定する。

## 【最低保障賃金】

すべての加盟組合において、産業別最低保障賃金およびポイント年齢別最低保障賃金の協定化に取り組む。

## 【同時要求】

年間総実労働時間1800時間の実現にむけ、すべての加盟組合が目標達成にむけ主体的に取り組む。

子育てや介護との両立支援、男女平等社会の実現、高年齢者雇用制度の確立、同一労働同一賃金の考え方に基づく不合理な待遇差の是正に取り組む。

## 【交渉スケジュール】

要求書は原則として2月末日までに提出し、3月9日13日を集中交渉期間（ヤマ場は11日）として、3月末日までの決着を目指す。

# 2019 秋闘のまとめ

2019秋闘は、第19

回定期大会で確認された方針にのっとり、原則として10月末日までに要求書を出し、11月末日までに決着を目指すスケジュールで行われました。

要求書を提出した加盟組合は52組合で、他に2019春季生活闘争からの継続協議となった組合が20組合、業績運動などの一時金支給制度に基づく確定交渉をおこなった組合が9組合ありました。交渉の結果は、12月16日時点の集計で、同日までに合意もしくは妥結した組合は53組合あり、その冬期一時金支給月数の単純平均は1.23ヵ月（2018秋闘の合意水準は1.16ヵ月）となりました。業種別では、ホテル・レジャー24組合の平均は1.28ヵ月（同1.18ヵ月）、ツーリズム・航空貨物29組合の平均は1.19ヵ月（同1.15ヵ月）となりました。夏冬合計の年間一時金

支給月数は、集計可能な102組合の単純平均で2.87ヵ月（2018年の水準は2.86ヵ月）となりました。業種別では、ホテル・レジャー52組合

の平均は2.63ヵ月（同2.62ヵ月）、ツーリズム・航空貨物50組合の平均は3.14ヵ月（同3.10ヵ月）となりました。賃金改善要求をおこなった組合は9組合ありましたが、12月16日時点で合意できた組合はありませんでした。

このほか、本年4月のパートタイム・有期雇用労働法の施行を控え、同一労働同一賃金の法整備にむけて労使協議を行う確認等をした組合が2組合ありました。また、長時間労働は正の取り組みについて合意した組合が1組合ありました。

## 中央委員会学習会開催

### 久本京大教授「2020春闘に向けて」

中央委員会の前段で開催されている恒例の学習会は、本年は京都大学大学院経済学研究所の久本憲夫教授をお招きして実施しました。

演題は「組合運動の諸課題と今後の方向性」2020春闘に向けて。なぜ「同一労働・同一賃

金」が議論になるのかをキーワードに、世界の労働市場における日本の特殊性を指摘し、企業の売上高は伸び悩みも収益は近年大幅に伸びており、

久本教授の言葉に真剣に耳を傾け、今後の各加盟組合における労働運動の参考とすべく、熱心にペンを走らせていました。



熱く語る久本教授

にもかわらず賃金が伸びない実態について解説、加えて日本では長時間労働の多さ、年休取得のしにくさについて、法制面とともに日本ならではの慣習が原因であると指摘し、その解決のためには、「賃金よりも労働しない時間が大切」との意識による「労働時間口座」の考えを提唱されました。参加者はみな、熱く語

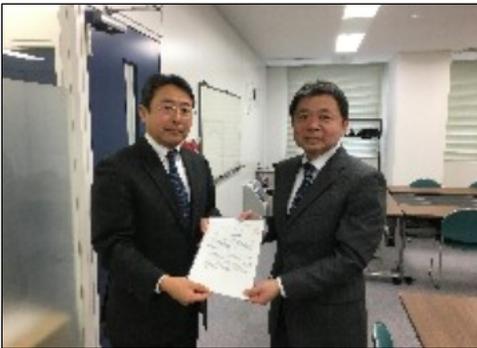


# 業界団体へ 申し入れ書を提出

中央委員会において2020年春季生活闘争方針が決定されたことを受け、サービス連合では関係する業界の各団体に申し入れ書を提出しました。

この申し入れは、魅力ある産業の実現にむけ、サービス連合の掲げる春季生活闘争方針について理解を求めるとともに、労働条件の底上げのため、最低保障賃金制度等について、加盟する会員各社へ働きかけを求めるものです。

具体的には、まず労働条件のまさに底支えとなる産業別最低保障賃金制度の確立です。サービス・ツーリズム産業に働く者全員に対し、各都道府県ごとに定められている最低賃金に一定割合を上乗せした賃金の設定を求めます。また、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指すため、年間総実労働時間1800時間の実現にむけ、年間総実労働時間の短縮、所定外労働時間の短縮、所定休日時間の短縮、所定休日の増加、有給休暇付与日数および取得日数の増加を求めました。加えて旅行業に対しては、旅行の安全の追求と万一の事故に備えるための統一労災補償制度の確立も求めました。



旅行業の業界団体である日本旅行業協会（JATA）と全国旅行業協会（ANTA）に加え、今年には宿泊業の団体である日本旅館協会および全日本シティホテル連盟、航空貨物業の団体である航空貨物運送協会（JAF A）へも申し入れを行いました。

業界団体へ申し入れ書を手渡す後藤会長  
 (上) JATA 志村理事長  
 (中) 全日本シティホテル連盟 粉川専務理事  
 (下) JAF A 宮内事務局長

1月24日に全日本シティホテル連盟・粉川専務理事とANTA・有野専務

理事、1月29日には日本旅館協会・佐藤専務理事、1月31日にはJAF A・宮内事務局長、そして2

月18日にはJATA・志村理事長をそれぞれ訪ね、趣旨を説明したうえで、書面を手渡しました。

— 2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ —

## たすけあいの輪をむすぶ「こくみん共済 coop」スタート!

住まい共済	自動車共済	こくみん共済	総合医療共済	せいの共済
マイカー共済	自転車共済	団体生命共済	交通災害共済	新セット旅行共済

**こくみん共済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

## 明日づくりプロジェクト

サービス連合では社会に貢献かとして、社会貢献活動を行っています。

11枚の「書き損じはがき」でカンボジアではひとりごと月一校に通えます。

ane mone

サービス連合  
サービス連合は社会貢献活動の推進者です。

# 地連ホームページを リニューアルしました

昨年夏、サービス連合のホームページをリニューアルしましたが、このたび、地連のホームページもリニューアルを実施しました。

これまで地連のホームページは、東日本、中部、西日本の各地連において

独自に制作・運営しているものがありませんでした。しかし、デザインも掲載情報分類の統一性もない状態にありました。

このため、リニューアル後のしたサービス連合ホームページにトーンを合わせたデザインで、三



東日本地連最新情報  
What's New

地連のホームページを新たに作成しました。新しいURLは、サービス連合ホームページのURLの末尾にそれぞれ「east/j」、「(東日本)」、「chubu/j」、「(中部)」、「west/j」、「(西日本)」を加えたもので、本ホームページからリンクボ

タンも設置してあります。各地連のホームページ相互間をリンクボタンで行き来することもできます。地連のホームページは、各種会議の議事録やイベントの告知など、日常的に発生するものはほぼすべてものをリアルタイムで見られるようになります。また、「スケジュール」のページも設置し、会議スケジュールを確認

することもできます。広く公開している「一般ページ」と「会員ページ」があるのはサービス連合のホームページと同様で、パスワードも同じです。不明な点があれば、サービス連合本部または各地連へお問い合わせください。新ホームページは、必要に応じて今後も随時改修をしていく予定です。

## 連合「核兵器廃絶1000万署名」

### にご協力を

連合（日本労働組合総連合会）では現在、「核兵器廃絶1000万署名」に取り組んでいます。連合は核兵器廃絶に長く取り組んできた原水禁（原水爆禁止日本国民会議）およびKAKKIN（核兵器廃絶・平和建設国民会議）とともに、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現に向け平和運動を統一行動として展開しています。核兵器を保有する国の駐日大使館や総領

事館に向けた、核兵器の削減・廃絶と核兵器開発の中止を訴える行動にも注力しています。2005年からは「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」へ参加し、その開催に合わせて署名を国連と日本政府と提出しております。今年4月の同会議に合わせ、国際連合事務総長と日本の内閣総理大臣宛に提出します。サービス連合各加盟組

合においては、すでに別途お送りしている署名要旨に記入して、3月23日

（月）までにサービス連合本部へ郵送またはご持参ください。署名用紙はサービス連合ホームページからもダウンロードできます。ご家族の皆さんを含め、組合員の皆様の幅広いご協力をお願いします。

**核兵器は  
いららない。**

**核兵器廃絶  
1000万署名**

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

連合 原水禁 KAKKIN

**けっこう使える  
だからおすすめ!**

ろうきんならローンも安心金利  
お気軽にご相談ください

住宅ローン 教育ローン  
車ローン カードローン

あなたへの  
わかちあう  
次の一歩

Rousei